

Tシャツアート展開催

ゴールデンウィーク中、町内ではたくさんイベントが開催されました。

砂浜美術館（入野の浜）で行われるTシャツアート展（主催／特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館）は、開催当初からこれまで多くの方々に支えられ、今年で20周年を迎えました。

砂浜を美術館として考えることで、そこにあるもの、その場に存在する生き物や人々までもが、かけがえのない作品となる。「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です」をコンセプトとして、入野松原周辺では年間を通じてさまざまなイベントが行われています。



今年もひらひらしていました

Tシャツアート展では、真っ白い砂浜に、洗濯物を干すようにしてTシャツが展示されます。Tシャツは、それぞれ、個々に応募された写真やイラストの作品がプリントされたもので、期間終了後は潮の香りとともに出展者に届けられます。今年は県内外、遠くは国外から、合計974点もの作品が応募されました。

また、会場内では全国各地から集結した日本砂像連盟の各支部メンバーらによる砂像制作が行われました。

町内で砂像制作活動を行う同連盟黒潮町支部は、昨年のTVチャンピオン2サンドアート王選手権に引き続き、砂の彫刻国内選手権大会（鹿児島）で優勝を果たしました。



テーマは「海との邂逅」

大方シーサイドはだしマラソン全国大会

5月3日には大方シーサイドはだしマラソン全国大会が行われました。この大会は全国大会とはいえ予選大会などではなく、全国から広く参加を募集して行われています。

砂浜をはだしで走るという珍しいこの大会に、毎年全国各地から大勢の参加者が集まります。今年は過去最多の700人も参加がありました。

個人や親子、夫婦で、愛犬もいっしょに、4キロから6キロの砂浜を真っ青な空の下、さっそうと駆け抜ける選手もいれば、子どもと手をつなぎ波打ち際で遊びながら楽しむ親子連れの姿もありました。



町内からもたくさんの参加がありました

坂折地区 空中と水中のカッコウ鯉のぼりで町の活性化

坂折地区では地域の活性化を図ろうと、地区住民が中心となって、毎年5月に伊与木川へカッコウと鯉のぼりの川渡しを行っています。カッコウと鯉のぼりは、地元の子どもたちももちろん、町内外からも大変好評で、合計100匹を超えるカッコウと鯉のぼりの雄大な川渡しを間近で見ようと、毎年たくさんの方が訪れます。

今年も、この町で紙の鯉のぼりの作り方を習ったことをきっかけにイベントを企画、5月5日こどもの日を祝う「カッコウと鯉のぼり川渡しフェスティバル」が開催されました。



期間中は、川辺でピクニックを楽しむ家族連れやカメラを持った人でいっぱいでした

カッコウと鯉のぼりの川渡しのほかたくさん紙の鯉のぼりが堤防沿いや伊与木川の水の中へ遊泳された会場では、黒潮一番館のカッコウのタタキ実演販売や北部活性化協議会の物産販売などの出店や、伊田在住の柳沢邦男さん扮する道化師の風船パフォーマンス、午後からは紙芝居ボランティアグループ「おはなし玉手箱」の地元で伝わる民話の紙芝居、イベント最後の餅なげで来場者を楽しませていました。

初めて聞く物語に、みんなじっと聞き入っていました



何ができるかな？お母さんも子どもたちも興味津々でした

王迎団地で「七草の日」のお祝い

4月25日、王迎団地の集会所でこどもの日を祝う集いが開かれ、お菓子のつかみ取りや紙芝居ボランティアグループ「おはなし玉手箱」による王迎地区に伝わる民話「小袖貝ものがたり」を含む3つの紙芝居が上演されました。集会所には子どもや保護者ら約30人が集まり、地元で昔から伝わる物語に熱心に耳を傾けていました。

宮川博区長は「今後もこの新しい集会所を活用して、子どもを中心とした催しを行い住民同士の繋がりを広げていきたい」と思いを話してくれました。



みんな仲良く・自然に親しむ 南郷小学校の砂浜運動会

南郷小学校では、新しく入学した1年生を歓迎する催しとして、遠足を兼ねた砂浜運動会を毎年開催しています。今年も4月17日に鞭の砂浜で午前中は砂浜清掃、午後から運動会が開かれました。

保護者や地域の方々が応援する中、砂に足をとられながらも一生懸命に競技しました。また、応援に来た保護者や

地域住民といっしょに綱引きも行われ、みんなが砂にまみれながら、笑顔いっぱい運動会となりました。「砂の上は走りにくかったけど楽しかった」「来年も楽しみ」と、ひとつの疲れも見せず満足顔の子どもたちでした。



迫力満点!ビーチフラッグ(写真提供/朝日新聞社)

田ノ口小学校・八野小学校 田村地区で「ピーマン」収穫

田村地区の秋田彰仁さんのハウスで5月1日に田ノ口小学校の全学年70人が、5月8日には入野小学校2年生29人がピーマンの収穫を体験しました。秋田さんは、3年前から保育所や小学校の子どもたちへのピーマン狩り体験を受け入れていきます。今年もJAの青壮年部4人も加わって、子どもたちは狩り方を教わりながらたくさんピーマンを

収穫しました。妻の久美子さんは「楽しんで収穫する姿を見るととても嬉しい。嫌いだっただピーマンを食べられるようになったとも聞きます。機会があればまた受け入れたいです」と話してくれました。



大きなピーマンをたくさん収穫しました

黒潮町にNHKがきた! 「街道てくてく旅」生放送

NHKBShi(BS2)で放送されている旅番組「街道てくてく旅」の放送が伊与喜小学校、上川口港、入野海岸で行われました。

この番組は、出演者が全国を歩いて巡りながら人々と交流し地域の魅力などを紹介する内容で、今までに東海道、中山道、甲州街道、日光・奥州街道での旅の内容がそれぞれ放送されてきました。

現在は、プロ卓球選手の四元奈生美さんが、四国霊場88か所約1200キロメートルの道のりを巡る旅が朝8時から放送されています。

そして、第37番札所「岩本寺」(四万十町)を出発した



カメラでみんなを撮影したよ

5月19日から同月21日にかけて、ここ黒潮町で放送が行われました。

伊与喜小学校では、放送前日に番組への協力のお礼にと全児童20人に簡易放送体験クラブが実施され、カメラや中継車の中を見学したり実際に操作させてもらったりしながら、番組がどのように作られていくのかを教わりました。また、スタッフの方たちに指示を受けながら実際にミニ番組の制作体験を行いました。撮影されることはもちろん、見るもの触れるもの全てが初めての子どもたちは「ドキドキした!」「難しかったけどおもしろかった!」と貴重な体験に緊張と興奮で胸いっぱい様子でした。



一人ひとり役割を持って、さあ、番組制作!